

## 埼玉県福祉のまちづくり条例に係るこれまでの経緯

	国	埼玉県
平成6年	<b>ハートビル法施行</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>特別特定建築物の建築等について、基礎的基準への努力義務化</li> <li>認定建築物に対する支援措置の創設</li> </ul>	
平成7年		<b>埼玉県福祉のまちづくり条例制定</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活関連施設の整備の際には、整備基準の遵守を義務化</li> </ul>
		<b>埼玉県建築基準法施行条例改正</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>一定の特殊建築物を対象に、出入口や廊下の幅などの規定を追加</li> </ul>
平成12年	<b>交通バリアフリー法施行</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>旅客施設等を新設する際に、移動円滑化基準への適合を義務化</li> <li>市町村による基本構想の作成を可能とした</li> </ul>	
平成15年	<b>ハートビル法改正</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>特定建築物の範囲の拡大</li> <li>特別特定建築物の建築等について、利用円滑化基準への適合を義務化</li> <li>認定建築物に対する支援措置の拡大</li> </ul>	
平成16年		<b>埼玉県福祉のまちづくり条例改正</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>「県及び県民の責務」に県民参加の規定を追加</li> <li>「子ども」を条例の配慮対象とした</li> <li>「学校」が生活関連施設であることを明文化</li> <li>「用途変更」も整備や届出等の対象とした</li> </ul>
		<b>埼玉県福祉のまちづくり条例施行規則改正</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>小規模建築物の整備基準の新設及び届出範囲の拡大</li> <li>生活関連施設に「路外駐車場」を追加</li> <li>多機能トイレの整備基準の新設</li> <li>子育て関連設備の整備基準の新設</li> </ul>
平成17年	<b>ユニバーサルデザイン政策大綱</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活環境や連続した移動環境をハード・ソフト両面から継続して整備・改善していく</li> </ul>	
平成18年	<b>バリアフリー新法施行</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>対象者の拡大</li> <li>対象施設の拡充(路外駐車場、都市公園など)</li> <li>基本構想の作成範囲の拡充</li> </ul>	
平成20年		<b>埼玉県建築物バリアフリー条例制定</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>バリアフリー法に規定する対象建築物の追加や対象規模の引き下げなど</li> </ul>
平成21年		<b>埼玉県福祉のまちづくり条例施行規則改正</b>
平成30年	<b>バリアフリー法等の改正</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>交通バリアフリー基準の一部改正</li> <li>建築物(客室)の車いす用客室の設置基準改正等</li> </ul>	<b>埼玉県福祉のまちづくり条例施行規則改正</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通機関の施設(駅の利用円滑化経路の複数化など)</li> <li>建築物の基準一部改正(宿泊施設の障害者用客室の増加など)</li> </ul>